

可児高校校長から中学校3年生の皆さんへ

校長 榎部祐成

中学校3年生の皆さんは、今まさに志望校合格に向けてラストスパートをかけられていることと思います。すでにご存じのこと多いかもかもしれませんが、改めて可児高校をご紹介しますので、自分の将来を考える参考にしていただければ幸いです。

【可児高校とは】

可児高校は、40年目を迎える普通科進学校です。1学年7クラス、全校約800人の生徒がそれぞれの目標に向けて大学進学を目指し、学んでいます。可児高校は可茂地区での学術と人材育成に大きな責任を負っています。これまでに、1万3千名を超す卒業生を輩出しており、その多くは国内外の様々な分野で活躍しています。

「清新はつらつ」の校風のもと、学習、部活動、生徒会活動、学校行事等あらゆる機会を捉えて、自己実現に努めています。何事にも一生懸命努力する可児高生の姿が見られます。そして高校3年間で、学力だけでなく人間的にも驚くほどの成長を見せてくれます。

【最高水準の教育・進学指導】

可児高校に入学すると、いろんな分野で活躍する先生による質の高い授業を受けることができます。体育、芸術も例外ではありません。また、短時間でありながら部活動にも熱心に取り組む、行事を楽しむなど、時間を有効に使っています。その結果、国公立大学の合格状況などの数字が示すとおり、学力の伸びは県内トップクラスです。

授業で基礎力、持久力を養い、土曜講座、進学指導のための各種ガイダンス、将来の進路や自分を見つめるプログラム（通称エンリッチ活動）等、様々な取り組みをしています。しかし、これは単なる大学受験対策ではなく、もっと先のキャリアの広がりを見据え、視野を広げようとするものです。

最近では、単位制の普通科校が増え、「自主性＝好きな分野だけやる」といった風潮があります。私はそうではなく、できるだけ多くの分野の学習をし、できるだけ多くの体験をすることによって、本来の自主性が身に付き、自己実現につながると思います。

【教育環境】

可児高校は、可児市坂戸が丘にあり、緑あふれる広い敷地にあります。隣接した市の施設をお借りして体育的、体験的活動もできています。交通の便はあまりよくありませんので、ほとんどの生徒が自転車通学（自宅から or 駅から）をしています。

しかし、それがかえって気力や体力の増進に繋がっているようです。暑い日も寒い日も、毎朝毎夕の自転車通学で知らず知らずのうちに体力が付きます。事実、他校に比べて熱中症等になる人数も少なく、大学受験期に風邪を引くなどの話はほとんど聞きません。最近では自動車での送迎が増えてきましたが、ぜひ自力通学を勧めます。

生徒が互いに刺激し合いながら、学力を伸ばすための最高の環境が整っています。

他地区の進学校受験を考えている皆さん、また最初から可児高校を第一志望とされている皆さん、高い志を抱く生徒の多い可児高校で、一緒に高校生活を送りましょう。

平成30年11月